# VSCodeの設定

VSCodeをインストールすると標準言語が英語だったり、インデントがスペースキー4つ分だったりとちょっと使い辛いので初期設定や最低限入れて置いて欲しい拡張機能を共有します。

## 拡張機能の入れ方

エディターの開くと左側にいくつかアイコンがあると思います。その中からブロックが積み重なっているアイコンを選択してください。



それを押すと左側にメニュー画面が開きます。



1番上が入力できるようになっているのでそこから拡張機能を検索できます。

項目をクリックすると、詳細画面が表示され、その中にインストールボタンがあるのでそれを押すとインストールが開始されます。

自動で反映されるものもありますが、再読み込みをする必要があるものもあります。その場合再読み込みが 表示されるのでそれをクリックすれば再読み込みされます。

## 最低限必要な拡張機能



エディターを日本語にするプラグインです。一部英語のままの部分ですが翻訳の精度は高く、使用する分には差し支えないです。

開発元がMicrosoftなのも安心して使えます。

余計な半角が入っていたら赤く表示してくれます。

```
5 war dest
6 while(des
7 war
8 woffs
9 indent-rainbow oderwat.indent-rainbow
0derwat | ゆ 822,930 | **** **** リポジトリ | ライセンス
Makes indentation easier to read

Make indentation easier to read

**Tタインストール**

**This extension is enabled globally.**
```

インデントの階層を色で表示してくれます。



お互いインターネット環境がある前提ですが、リモートでコードの確認、修正が行えます。

質問で直接対応できる時とかはこれを活用使用かと思います。

使い方を説明してある記事がありますのでそちらも読んでおいてください。

#### Live Shareについて

## プラグインの注意点

今回紹介したもの以外にも拡張機能はたくさんあります。

便利だからなんでもかんでも入れてしまうとPCへの余計な負荷などがかかるので必要最低限ものかつ、評価、どれだけインストールされているかも見るようにしましょう。

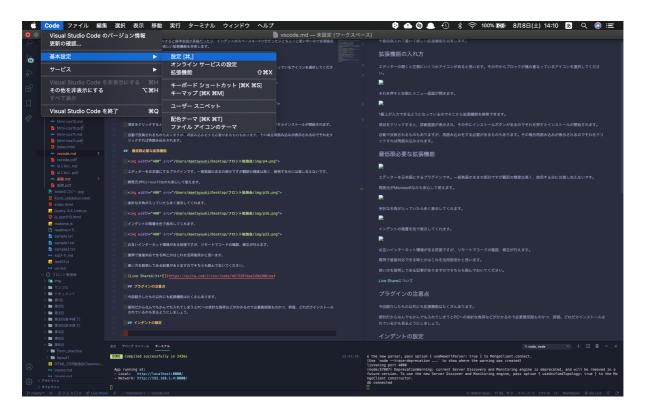
## インデントの設定

インデントとはHTMLを書く時や、プログラミングをする上でとても重要です。

HTMLの要素の中に何か別なHTMLを書く時、プログラミングで実行する処理を書く時にインデントを下げて 読みやすくします。

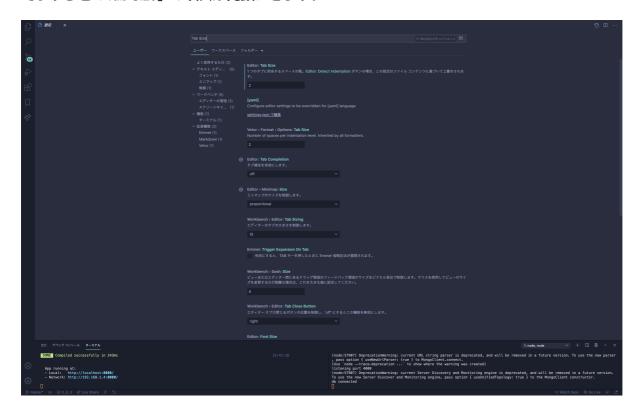
キーボードに「tab」と書かれたキーがあるのでそれでインデントを下げることができます。

日本語にする拡張機能が入ったと思うので「基本設定」の中にある「設定を」クリックしてください。



検索項目があるので「Tab Size」の入力してください。

そうすろと「Tab Size」の項目が先頭にきます。



初期では「4」となっていたら「2」にしてください。

この時半角になっていることを確認してください。

設定は以上です。他にもいろいろ設定できますので自由に変更していただいて大丈夫です。